

官・民・地域住民の協働による 家庭訪問型支援の多様性と可能性

～ 制度の上でも、制度の狭間でも、子どもと親を支えるために～



こども家庭庁の幅広い施策の中でも、新制度「子育て世帯訪問支援事業」が創設されるなど重点施策となっている<訪問型>の支援。効果的に実施するには官・民・地域住民の協働が重要ですが、その実践の内実は多様です。虐待の低リスク層から高リスク層まで、妊娠婦から18歳の子どもまで、なぜ協働が必要か、どんな協働のしかた（＝制度の活用のしかた）がありうるか、取組事例から学び合いたいと思います。全国的にもまだ少数にとどまり、それぞれの場所で試行錯誤と摸索が続くそうした取り組みの連なりに、どうかあなたの町からも加わってください。

日 時：

2025年3月8日(土)

14:00～16:00 トークセッション

16:10～17:00 オンライン交流会

※トークセッションのみでもご参加いただけます

方 式： ZOOMミーティング

定 員： 150名

参加費： 無料

対 象： 子育て支援に従事する各種団体や施設の方
子育て支援に従事する自治体職員の方
テーマに関心のある方

参加お申込は WEB サイトから

<https://buddy-team.com/event20250308nf>



KEYNOTE 基調講演



川松 亮

明星大学人文学部福祉実践学科 教授／
認定 NPO 法人児童虐待防止全国ネットワーク 理事長

東京都の福祉職として、児童養護施設等で勤務の後、児童相談所で児童福祉司として勤務。その後、厚生労働省児童福祉専門官、子どもの虹情報研修センター研究部長を経て、現職。社会福祉士。



REPORT

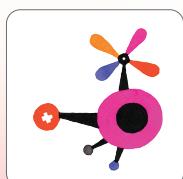
取組事例報告



森田 圭子

NPO 法人ホームスタート・ジャパン 代表理事 共催

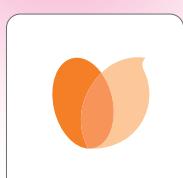
産前から未就学の子どものいる家庭に、研修を受けた地域の子育て経験者がボランティアで訪問し、親子に寄り添い一緒に家事・育児を行う英国発の仕組み「ホームスタート」を普及する目的で2006年に団体設立。2009年に法人化。現在32都道府県・約120地域で活動する団体のネットワークの中心として、広報活動や寄付募集、立ち上げ支援、国への政策提言などに取り組む。



寺出 壽美子

NPO 法人日本子どもソーシャルワーク協会 理事長 共催

児童虐待、いじめ、不登校ひきこもり、少年事件等、さまざまな子ども・若者・家族への援助を学びながら実践する団体として2000年に設立。子育て家庭や不登校ひきこもりの子ども・若者への訪問支援や、少年審判等の少年の立ち直り支援に取り組むほか、支援課題についての調査研究を行う。



岡田 妙子

NPO 法人パディチーム 理事長

2007年設立。子育て支援・虐待防止・里親家庭支援を目的とした家庭訪問型の支援を行う。さまざまな事情により子育てに困難を抱える家庭に訪問し、保育、家事、学習支援などを学びながら親子に寄り添う。現在、都内12区より子育て世帯訪問支援事業(養育支援訪問事業)を受託するほか、江戸川区の「おうち食堂」「おとなりさん」事業、世田谷区の「おうち DE ぽかぽかクッキング」事業の運営管理、また東京都・江戸川区・世田谷区より里親家庭むけの育児・家事援助事業を受託。



参加お申込は WEB サイトから

<https://buddy-team.com/event20250308nf>



主催・お問い合わせ



〒162-0822 東京都新宿区下宮比町 2-28-830

TEL : 03-6457-5312

MAIL : honbu@buddy-team.com



Supported by
このイベントは日本財団より助成を受け、2024年度「訪問型養育支援強化事業」の一環として開催されます。